

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公開番号】特開2015-7171(P2015-7171A)

【公開日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2013-132305(P2013-132305)

【国際特許分類】

C 08 L 67/02 (2006.01)

C 08 K 3/32 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

【F I】

C 08 L 67/02

C 08 K 3/32

C 08 J 5/18 C F D

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月3日(2016.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリエステル樹脂組成物Aを溶融押出しし、シート状に成型した後に長手方向と幅方向の二軸に延伸する工程を有するポリエステルフィルムの製造方法であって、前記ポリエステル樹脂組成物A中に、アルカリ金属元素含有量WAが165 ppm以上850 ppm以下、リン元素含有量WPが330 ppm以上2000 ppm以下であるポリエステル樹脂組成物をポリエステル樹脂組成物Aに対して5質量%以上50質量%以下含有する事を特徴とするポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項2】

前記ポリエステル樹脂組成物が、固有粘度(IV)が0.70以上1.00以下のポリエステル樹脂組成物に、リン酸およびリン酸アルカリ金属塩を含む溶液またはスラリーを添加した後溶融混練して得られたものであり、かつ、前記溶液またはスラリーにおけるリン酸とリン酸アルカリ金属塩を合計した濃度が3.0質量%以下である事を特徴とする、請求項1に記載のポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項3】

前記リン酸およびリン酸アルカリ金属塩を含む溶液またはスラリーが、固有粘度(IV)が0.70以上1.00以下のポリエステル樹脂組成物に対して、リン酸アルカリ金属塩を7.0モル/tを越えて30.0モル/t以下、リン酸を3.5モル/tを越えて35.0モル/t以下となるように添加する事を特徴とする、請求項2に記載のポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項4】

ポリエステルフィルムを構成するポリエステル樹脂組成物中のアルカリ金属元素含有量WAfが20 ppm以上150 ppm以下、リン元素含有量WPfが40 ppm以上500 ppm以下、WAf/WPfが0.3以上0.7以下である請求項1～3のいずれかに記載の二軸配向ポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項5】

ポリエステルフィルムを構成するポリエステル樹脂組成物中に、マンガン元素を 100 ppm 以上 300 ppm 以下 含有する 請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の二軸配向ポリエス  
テルフィルムの製造方法。

【請求項 6】

ポリエステルフィルムを構成するポリエステル樹脂の末端カルボキシル基量が 25 当量 / t 以下である 請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の二軸配向ポリエス  
テルフィルムの製造方法。